

(様式 1-3)

福島県楡葉町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成27年5月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	放射線リスクコミュニケーションリーダー育成事業	事業番号	(3)-21-3
交付団体	楡葉町		事業実施主体 (直接/間接)	楡葉町 (直接)	
総交付対象事業費	1,372 (千円)		全体事業費	3,985 (千円)	

帰還環境整備に関する目標

講習会を開催し、住民の方に放射線に関する正しい知識を習得していただき、住民同士での放射線リスクコミュニケーションを可能とすることで、より多くの住民に放射線に関する知識が広まり、放射線への不要な不安を解消し、住民に町で生活することへの安心感が高まることを目標とする。

事業概要

町民が抱える放射能に対する不安を払しょくするためには、町民自身が正しい知識を習得し理解を深めることが重要である。
このため、住民の放射線に対する知識の向上と普及のため、放射線関連資格（第3種放射線取扱主任者）の取得講習会を開催する。これにより、町民同士での自主的なリスクコミが促進され、住民の不安の解消につなげる。

- 第3種放射線取扱主任者講習会の開催
- 募集人数 25名
- 開催回数 1回
- 楡葉町復興計画〈第二次〉
- 放射線関連の資格創設・町民の取得促進

当面の事業概要

<平成27年度>
第3種放射線取扱主任者講習会の開催

地域の帰還環境整備との関係

放射線に関する正しい知識を住民の方が習得し、町で安心して生活するためにすべきことへの理解（食生活やWBCの受診等）を高め、帰町に向けた準備を推進することができる。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--